

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ほぶり西宮教室			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 27日		～	2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～	2024年 1月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いABA(応用行動分析学)に基づく個別セラピーが受けられること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABAの中でも特に効果が高いとされるDTT(不連続試行指導法)の訓練を受けたセラピストが楽しく、かつ、集中的に働きかけることでお子様の持っている力を引き出します。</li> <li>・事業所内研修を隔月行っています。</li> <li>・SV(スーパーバイザー)が各利用者のプログラムや支援方法について日頃からアドバイスをして、セラピーにも同席するなどスーパーバイズを行なっています。</li> <li>・プログラムの定期的な見直しをしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのケースにSVが定期的に同席できるように検討していきたいです。</li> <li>・内部の研修だけでなく外部の研修にも積極的に参加していきたいです。</li> </ul>
2	担当制のセラピーが受けられること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に1人(又は2人)のセラピストが担当し1年間を通してセラピーを実施します。</li> <li>・保護者様との親密な信頼関係を築くことや1年を通しての切れ目のない支援をさせていただくことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当セラピストが休みのときには、できるだけ他のセラピストが交代しセラピーを提供できるように、日頃から担当以外のお子様のセラピーを見学するなどの取り組みを強化していきます。</li> </ul>
3	保護者様とセラピストが力を合わせるセラピーを取り入れていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に同席又はモニターを通してお子様の療育の様子を見ていただき、保護者様とセラピストが歩調を合わせてセラピーを進めていきます。</li> <li>・療育の前と後に保護者様とお話をする時間を毎回設けているので、いつでもご相談にのることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、療育中に保護者様に交代してセラピーや関わり方を実践的に学んでいただく機会を設けていきたいです。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育を取り入れていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別療育をベースに療育していることと、今まで保護者様からは個別療育をしてほしいという意見が多かったため。</li> <li>・集団療育をするスペースが事業所内にないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活に必要なスキルの習得を課題として取り上げ、個別療育内で取り組んでいます。それ以外に、同じ時間帯のお子様同士と一緒に活動する機会を取り入れることは可能なので、ご希望があれば実施したいです。</li> </ul>
2	保護者間の交流会や子供同士の交流会を開催していないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所してから軌道に乗るまでは、主軸である個別療育に力を注いできたため。</li> <li>・今までは、交流会をやってほしいというご要望があまりなかったため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は7月に交流会を検討しています。</li> <li>・法人主催のイベント・講習会等には、引き続きご案内していきます。</li> </ul>
3	SNSでの発信があまりできていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで発信していなくても利用者様のご利用してくださる状況があり、あまり外に発信する必要性が無いと感じていたため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、HP、Instagram、Facebookなどを更新し、ほぶりでの取り組み内容を外部にも発信する機会を設けていきたいと考えています。</li> </ul>